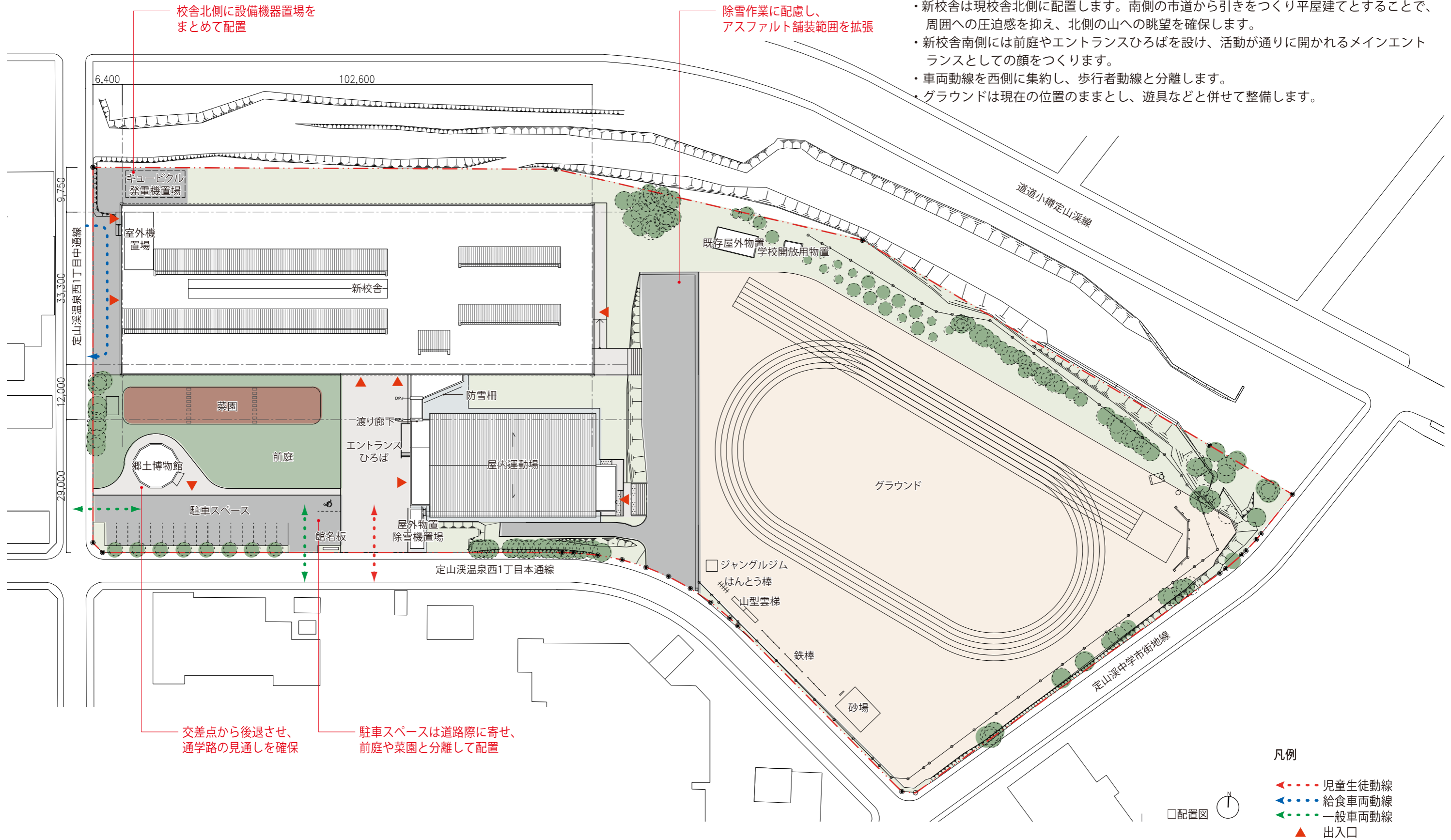
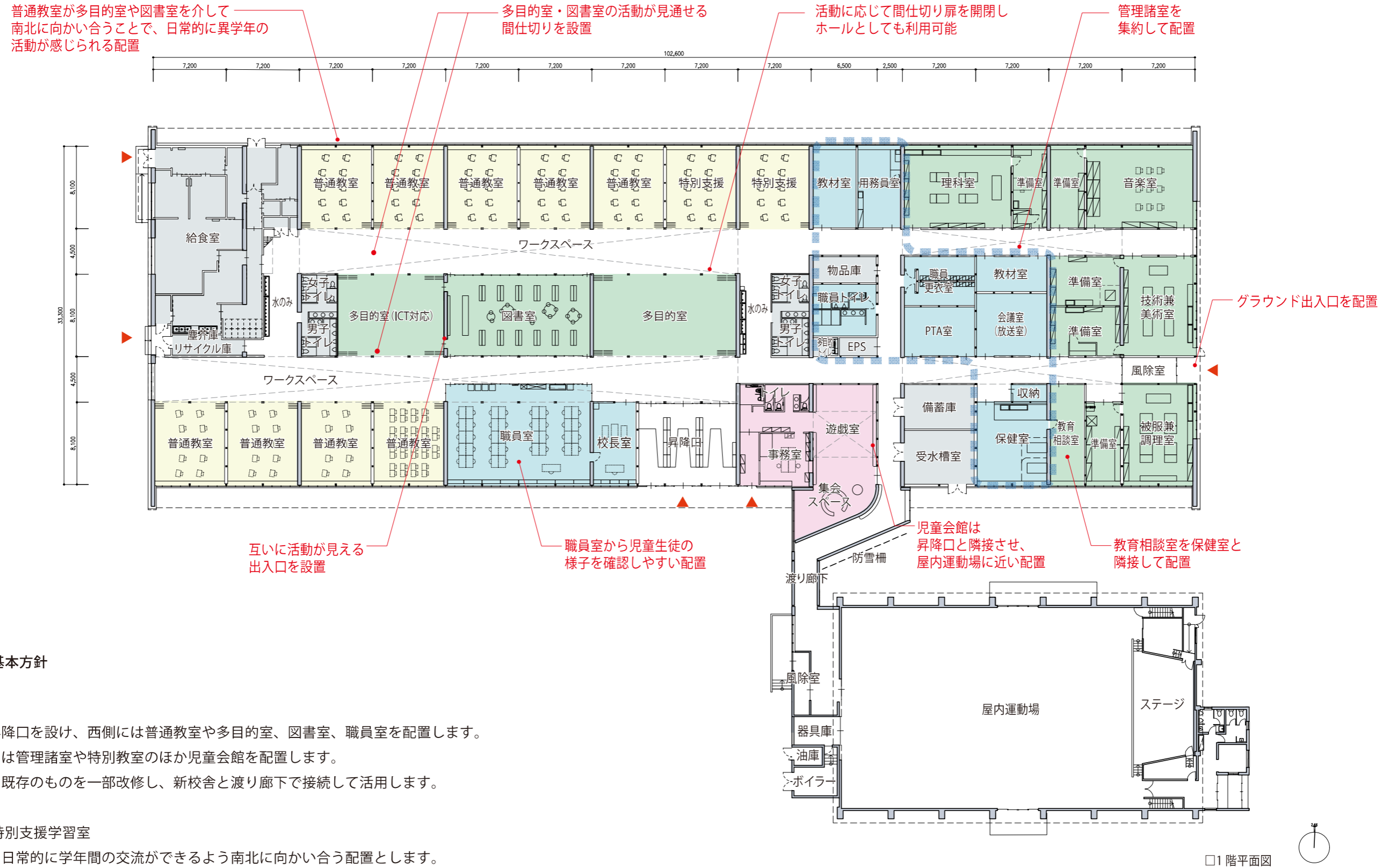


□配置計画の基本方針

- ・新校舎は現校舎北側に配置します。南側の市道から引きをつくり平屋建てとすることで、周囲への圧迫感を抑え、北側の山への眺望を確保します。
- ・新校舎南側には前庭やエントランスひろばを設け、活動が通りに開かれるメインエントランスとしての顔をつくります。
- ・車両動線を西側に集約し、歩行者動線と分離します。
- ・グラウンドは現在の位置のままとし、遊具などと併せて整備します。





□平面計画の基本方針

○全体構成

- 校舎中央に昇降口を設け、西側には普通教室や多目的室、図書室、職員室を配置します。
- 昇降口東側には管理諸室や特別教室のほか児童会館を配置します。
- 屋内運動場は既存のものを一部改修し、新校舎と渡り廊下で接続して活用します。

○普通教室と特別支援学習室

- 普通教室は、日常的に学年間の交流ができるよう南北に向かい合う配置とします。
- 普通教室は、隣接するワークスペースの上部に高窓を設け、2面採光と通風を確保します。
- 特別支援学習室は、普通教室と並び、水回りに近い配置とします。

凡例

- 普通教室・特別支援学習室
- 特別教室
- 管理諸室
- 児童会館
- その他諸室